

# 道徳教育の全体計画

千葉県立香取特別支援学校

**【関係法令】**  
 ・日本国憲法  
 ・教育基本法  
 ・学校教育法  
 ・学習指導要領  
 ・学校教育指導の指針  
 ・道徳教育推進のための基本的な方針

**【学校教育目標】**  
 自立を目指して自ら学び、豊かな心を持ち、元気にたくましく生きる子どもの育成

**【保護者の思い】**  
 専門性の高い教育について学校への期待は大きく、生活力や就労を基本とした社会自立のための能力の向上を期待している。

**【地域の実態】**  
 閑静な田園地帯で、本校の活動に関心を寄せている。近隣の小中学校との交流や学校行事等で地域住民からの積極的な関わりが得られる。

**【道徳教育の目標】**  
 千葉県における「道徳教育推進のための基本的な方針」に基づき、  
 ○基本的生活習慣を身に付け、積極的に生きる勇気と行動力を育てる。  
 ○自他の生命を大切にすることを育てる。  
 ○集団や社会のきまりを守り、社会の構成員として、役割や責任を果たそうと努力する資質を育てる。

**【各学部の重点目標】**

	A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
小学部	・健康や安全に気を付け、規則正しい生活をする。 ・できることを増やしたり自分でやろうとする意欲を高めたりする。	・元気に挨拶や返事をする。 ・友達と仲良くしたり、教師触れ合ったりする。	・身近な集団に参加し、自分の役割に取り組む。 ・約束やきまりを守ることが出来る。	・身のまわりのさまざまな「いのち」（自然や動植物）に触れる。
中学部	・望ましい生活習慣を身に付ける。 ・自分のことを振り返り、よい所を伸ばす。	・正しい言葉遣いを知り、実践する。 ・相手の立場を思いやり、親切にすることができる。	・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。 ・様々な季節行事や伝統行事に参加をし、きまりを守って過ごす。	・自分の身の回りの「いのち」に感動し、大切にする。
高等部	・生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直す。 ・夢や希望を持ち社会の一員として自分の人生を考え行動する。	・状況に応じた言葉遣いや態度で関わりを持つ。 ・相手の立場に立ち、思いやりのある行動や適切な関わりを持つ。	・働くことの大切さや意義を知り、役割と責任を果たす。 ・地域社会の一員としての自覚を持ち、規律ある行動を取る。	・生命がかけがえのないものであることを知り、尊重する態度を養う。

**【体験活動・社会参加活動の充実】**  
 人や社会、自然などの豊かな関わりの中で、様々な体験を通して、道徳性と道徳的実践力が身に付くように、体験活動や産業現場等における活動の充実に努める。

**【言語活動・読書活動の充実】**  
 教育活動全体を通して、より深く考え自己を表現し他者とつながるように言語活動を充実させる。言語活動の基盤となる読書活動の充実と図書活用の推進に努める。

**【各教科・領域における道徳教育の指導方針】**

日常生活の指導	日常生活に必要な知識や技能を身に付けることで、自立への基礎を養う。
生活単元学習	制作や自然に触れ合う体験活動などを通して、自分の良さに気付いたり、友達と協力したりしようとする態度を養う。
作業学習	働く活動を通して、将来の自分を意識し適切な職業選択をする態度を養う。
各教科	各教科の特性を生かし、一人一人の良さや可能性を理解し個を生かす学習指導を充実する。
総合的な学習の時間	自らの課題を見つけて取り組む中で、自己の内面を見つめ、夢や希望を持って未来に向けて人生や社会を切り開こうとする態度を育てる。
特別活動	望ましい集団生活を通して、それに適応し障害を克服する生活態度を培うとともに、経験を広げ社会性を養い好ましい人間関係を育てる。
自立活動	コミュニケーション能力を高めるとともに、望ましい人間関係の構築に必要な技能や態度を育成する。

**【自立活動】**  
 自己の障害の理解や身体の動きを高めたり、障害の理解や全ての教育活動を通して、全人格的な成長を促す指導、支援を進める。

**【生徒指導】**  
 教育活動全体を通して、全人格的な成長を促す指導、支援を進める。

**【キャリア教育】**  
 教育活動全体を通して、全人格的な成長を促す指導、支援を進める。

**【進路指導】**  
 教育活動全体を通して、児童生徒一人一人の発達段階に応じ、働く力の基盤、勤労観や職業観の育成を目指した指導支援を進める。

**【家庭・地域との連携】**  
 ・学校・学部・学年だより、保健だより等を通して本校の教育活動の理解や信頼関係の構築を図る。  
 ・児童生徒の姿をもとに家庭や施設との話し合いの場を設け、連携を深める。

